専大校友を訪ねて

創業60年を超す海運会社の会長

藤井（ふじい）　征治（せいじ）さん（旧姓坂口、昭39経済）

男女バスケ部を長年支える

愛媛県今治市に本社を置く愛媛海運株式会社の取締役会長を務める。入社当時は小型の内航船2隻を保有するのみだったが、その後会社は大きく飛躍。現在は20万トン規模の大型船を含む14隻を有し、国内外の港に鉄鉱石や穀物などを運んでいる。

「海運は島国日本の物流ひいては経済を支える重要な産業」。営業から工務まで陸上業務のすべてに携わってきた藤井さんは、日本屈指の海事産業都市・今治で海運業の変遷を半世紀にわたり見つめてきた。「オイルショックやプラザ合意による円高不況の際は大変だった」と多難の過去に思いをはせる一方、「リスクはあるが、世界を舞台にスケールの大きな仕事ができるところが海運業の醍醐味（だいごみ）」と力強く語る。現在は一線から退き、培った経験と人脈を生かして後進のサポートに尽力する日々だ。

藤井さんは「専大バスケ部の熱心なファン」としての顔も持つ。自身も大学時代はバスケ部に所属。1年次からレギュラーの座をつかみ、4年次にはキャプテンも務めた。

「入学当初は大学に体育館がなかった。日々の練習場所の確保に苦労したぶん、体育館が完成したときは非常にうれしかった」と当時を振り返る。関東大学リーグでは、ライバルの中央大学や法政大学としのぎを削った。念願の1部昇格は果たせなかったものの、バスケ部で学んだ規律や礼儀は社会に出てから大いに役立ったという。

卒業後、辰年巳年生まれの同期を中心に「辰巳会」を結成。誘い合わせて試合の応援に駆け付けるなど、藤井さんは長年にわたり男女バスケ部を物心両面で支えてきた。最近観戦した試合で特に印象深いのは、昨年の男子インカレの東海大戦。一時は20点差をつけられるも、盛實海翔選手（令2商）らの活躍もあって逆転勝利を飾る。「劇的な勝利に心躍るとともに、後輩たちの活躍を頼もしく感じた」とうれしそうに話す。

在学生に向け「専大生であることに誇りを持ち、実社会で羽ばたいてほしい」と話す藤井さん。専大OBとして、これからも温かなまなざしで後輩たちを見守り続ける。

UIターン 知事メッセージ

大阪府知事　吉村　洋文

共に大阪の未来を創りましょう！

新型コロナウイルス感染症拡大により、皆さんの大学生活や就職活動に大きな影響が生じていることと思います。大阪府でも「コロナとの共存」を前提に、「誰一人取り残さない」というSDGｓの理念を踏まえ、府民社会問題を解決する先導役を果たすため、東西二極の一極として日本の成長をけん引する「副首都・大阪」の実現をめざしています。

大阪は古くから日本の商業の中心として栄え、づくりの基盤を活かしたイノベーションの創出に取り組み、グローバルに発信していきます。

そのため、内外から多様な人材を呼び込み、大阪での活躍を促進するためビジネス環境の整備や創業など新たなチャレンジを支援する取り組みを進めるとともに、ダイバーシティの考え方に立ち、女性や高度外国人材など多様な人材が社会で活躍できる環境づくりにも取り組んでいます。

このような大阪で皆さんが活躍できるフィールドを見つけられるよう、大阪府の総合就業支援拠点「OSAKAしごとフィールド」のホームページの「ええやん大阪の企業！」で府内の企業情報を特集していますのでぜひ、就職活動にお役立てください。オンラインでのインターンシップや合同企業説明会の開催も予定していますのでぜひご参加ください。

皆さんと共に、大阪の未来を創っていくことを楽しみにしています。

【OSAKAしごとフィールド】https://shigotofield.jp/
【ええやん大阪の企業！】https://shigotofield.jp/eeyan/

就職だより

〈4年次生へ〉就職活動継続中の皆さん、「求人情報の探し方が分からない」「面接で苦労している」など困っていることや、悩んでいることはありませんか。そんな時には、予約のうえキャリア形成支援課で相談することをお勧めします。

「スタッフの助言により、課題解決のきっかけを得ることができた」という卒業生も過去にいました。一人で悩むより、まずは相談に来てください。10月に入ってからも、多くの企業から「採用活動継続中」との情報が寄せられています。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、相談の体制等に変更が生じる場合があります。あらかじめご了承ください。

〈3年次生へ〉10月10日から第1回就職ガイダンスが始まっています。このガイダンスでは、キャリア形成支援課の英知を集約して作成された「専修大学生のための就職活動ガイド」が紹介されます（昨年度までは紙媒体で配布していた就職手帳を今年度よりWEB化しました）。このサイトには、皆さんの就職活動に必要なコンテンツが多数盛り込まれています。自己分析・業界研究・企業研究・履歴書の作成・面接対策等、ことあるごとに「専修大学生のための就職活動ガイド」が役立つはずです。存分に活用し、就職活動に臨んでください。

校友新社長紹介

西川昭寛氏（にしかわ・あきひろ＝昭52法）㈱技研施工代表取締役社長に9月1日就任。本社＝高知県。土木工事請負業。

中鉢和宏氏（ちゅうばち・かずひろ＝平14法）㈱NFCホールディングス代表取締役社長に11月就任。本社＝東京都。保険代理業、労働者派遣業。

アドニス93号刊行

10月15日刊行の校友会誌「アドニス93号」では、創立140周年に寄せた日高義博理事長、佐々木重人学長、新澤千佳子育友会長、小宮多喜次校友会長のメッセージとともに、記念式典の模様を伝える。

「われら専修人」では、赤十字飛行隊としても活躍する㈱九建総合開発の代表取締役・新永隆一さん（昭61法）と、ヤフー㈱でショッピング部門の統括本部長を務める執行役員・畑中基さん（平7経営）が登場。また、緊急応援企画として、テイクアウトやお取り寄せができる「校友のお店」を紹介する。

専修大学・石巻専修大学「社会知性（Socio-Intelligence）の開発」推進募金

本学が進めている事業のうち、下記のA～Hの8項目を募金目的の柱としています。また、それぞれの募金目的について、具体的に使途を明示しております。これにより皆様が、本学の活動のうち、より強化・充実させたいと思われるものを具体的に指定し、支援することができる仕組みとなっております。皆様のご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

募金の詳細につきましては、ホームページ等をご覧ください。

専修大学募金局
TEL：03・3265・3157
E-mail：bokin@acc.senshu-u.ac.jp

募金目的

A 国際交流の推進支援
01 海外留学支援募金
02 外国人留学生支援募金
03 日本・ラオスプロジェクト事業募金

B 学生スポーツ活動の振興
04 学生スポーツ活動支援基金

C 学生への経済的支援
05 経済支援奨学生募金
06 学術奨励奨学生等支援募金
07 古本募金

D キャリアデザインプログラム充実支援
08 キャリアデザインプログラム充実支援募金

E 学生のボランティア活動支援
09 学生ボランティア活動支援募金

F 多目的ホール・シート募金及びチェア募金
10 多目的ホール・シート募金
11 チェア募金

G 教員の研究活動支援
12 奨学寄付

H その他
13 その他使途を特定しない支援

緑地帯

美味しくごはんを食べていますか

恵みの秋、皆さんは美味（おい）しくごはんを食べていますか？

栗ご飯に秋刀魚にきのこ、ぶどうや梨、考えただけでお腹（なか）がすいてきます。高級レストランや流行のグルメも楽しいけれど、素朴な旬の食を、気の置けない仲間と囲む時間は何よりの幸せですね。

食にまつわる思い出は、うれしかったりほろ苦かったり。私が初めて上京して一人暮らしを始めたのは、6畳一間のアパートでした。部屋の隅の小さな流しは、一口コンロを置けばいっぱい。すぐに自炊を諦めた私はいつも金欠、ぴいぴい困ってばかり。ある時、遠くの実家から母がきて、私の部屋に泊まりました。小さな流しで手際よく作ってくれた雑炊は、心と胃にしみこむような美味しさ。

「お母さんってすごいねえ！」と感激して、母に笑われたものでした。

美味しいはずなのに、うまく喉を通っていかない、そんな食事もありますね。病気をしている日、失敗に落ち込んでいる日、大切にしたい人を傷つけた日、夢破れてこれ以上は頑張れないと思ってしまうような日。

そんなときのごはんはまるで砂を噛むよう。一人で飲み下すには辛すぎて、スマホの画面やTVの笑い声に気を紛らわせつつ、無理やり喉を通す食の重たさ。生きているとそんな日もあるから、美味しく食べられる日の幸せをいっそう強く感じるのでしょう。

恵みの秋。皆さんの今日が、今日でなければ明日が、食の恵みと幸せを味わえる日でありますように。

（学生部委員・久木元美琴）